

Title	純粹生體「アイヌ人」の口腔器關特に齒牙の研究(島峯徹, 金森虎男共著, 大岡山書店發行)
Sub Title	
Author	松本, 芳夫(Matsumoto, Yoshio)
Publisher	三田史学会
Publication year	1926
Jtitle	史学 Vol.5, No.2 (1926. 5) ,p.151(305)- 151(305)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19260500-0151

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

と貝孫宴(箭田直)明の太祖の教育勅語に就いて(和田清)

右に挙げた如く、執筆者は何れも現代東洋史學の各方面を代表する學者なるを以て、本書は現時に於ける我が東洋史學の全景を収めた一大縮圖といふべきである。それにつけても、われらは白鳥博士の學界に跡づけられし偉大な業績に、衷心多大の敬意を表せざるを得ない。尙ほ本書に收むる博士の著作年表(自明治二十二年至大正十四年)は、われらをしていたく刺戟せしめ、深く感銘せしめてやまない。編者の勞を深く謝すると共に、敢て江湖に一讀をすすむるものである。(宮島貞亮)

純粹生體「アイヌ人」の口腔器圖特

に齒牙の研究

島峯 徹
金森虎男 共著

大岡山書店發行

アイヌ人に關する我が國人の研究には、小金井博士の人類學上に於けるもの、金田一京助氏の口碑に於けるものがあつて、ともにわが學界に一大寄與をなしたのであるが、しかし、種族の研究はあらゆる方面から試みられねばならぬのであつて、こゝに紹介せんとする本書のときは、從來ほとんど見ることを得なかつた特殊の方面の研究であり、それだけ、また、貴重なるものと言はればならぬ。

本書は島峯金森兩氏が、大正八年及び九年の二回に亘つて、主として日高國沙流郡平取村の奥に住居せるアイヌ人三百十三人の齒牙の研究であつて、殊にその研究の特色とすべきは、その調査人員のこととくが純粹の生きたアイヌ人であることである。

その調査結果によれば、一般にアイヌ人は内地人に比して、口腔諸器官、特に齒牙の状態が著しく健全であつて、その理由は食物、飲料、或は彼等の生活状態、或はその人種的關係等の諸原因によるであらうが、就中その顎骨の發育著しく良好なるためであるといふ。

本書はその所見の忠實なる記述を旨とし、總體的斷定を故意に省略したと言はれるけれども、この種族の形態的研究に對して極めて貴重なる文献をなすのであつて、なほ附録には「アイヌ土人の生活状態として、彼等の顔貌・風俗習慣・その飲食物、口腔部に於けるアイヌ語とその傳説、及び見聞録を記してある。これまた多くの寫真版(附圖A齒牙の圖六十六圖、B風俗及人物の圖五十圖、附表二十七表)とともにアイヌ研究にとつてよき參考である。(松本芳夫)